

# 未払い賃金請求訴訟速報シリーズ No. 4 : 佐賀大学

## —佐賀大学退職金引下げ無効訴訟第1回口頭弁論ならびに報告集会—

佐賀大学教職員組合「退職減額訴訟第1回公判の報告」(2014年1月16日)より

去る1月10日(金)、佐賀地方裁判所にて、佐賀大学退職金引下げ無効訴訟の第1回口頭弁論が行われ、またそれに引き続いて、報告集会が開かれましたので、以下にご報告申し上げます。

口頭弁論は同日午前10時30分より、佐賀地裁第一法廷にて行われました。原告側からは、原告の豊島耕一氏(元佐賀大学教職員組員)と同訴訟弁護団(東島浩幸、梶原恒夫、桑原健、八木大和の各弁護士)が出廷しました。しかし、被告の国立大学法人佐賀大学からは、3人の傍聴者はいましたが、弁護士を含めて、出廷した者は誰もいませんでした。原告の応援には未払い賃金請求訴訟を闘っている福岡教育大学の組合を始め、九州大学、熊本大学、大分大学の組員の方も駆け付けてくださいました。お礼を申し上げます。佐賀県では高教組も国や県を相手に賃金カット無効を訴える訴訟を起しており、国公労連を含む3つの裁判を協力して闘うための共闘会議が結成されています。そちらからも応援いただきました。報道関係者も6名が取材に来ていました。記者席10席を含む60席の傍聴席の約半数を佐賀大学教職員組合の組員やその他の応援の方で埋めることができました。

裁判官より開廷が宣せられた後、まず証拠確認が行われました。次いで裁判官から次回を弁論準備にしたという提案がありましたが、原告側から口頭弁論でという主張があり、次の口頭弁論日時が3月7日(金)10時30分からという予定が立てられました。

続いて豊島氏が意見陳述を行いました。まず、最初に同氏は、佐賀大学法人による退職金引下げが労組や過半数代表者との合意の手続きを踏むことなく、一方的に就業規則を変更した「不利益変更」あり、従って違法であると断じました。続いて同氏は、佐賀大学の教職員がもはや国家公務員でないにもかかわらず、国家公務員に倣って退職金を引き下げるよう求める、政府ならびに文科省からの要請を唯々諾々として受け入れた大学法人の不見識を難じると同時に、要請に従わなかった場合のリスクを仄めかして、政府・文科省が大学法人を脅迫する遣り口を、いわば政府による大学への「公的なパワハラ」であるとして厳しく批判しました。この「パワハラ」は退職金という労働条件の問題だけではなく、「大学の自治」や「学問の自由」といった民主社会の基本的価値まで脅かしかねないと、豊島氏は警告を発しています。最後に同氏は、学生にも常々説き聞かせてきたように、正当なる権利の侵害や不正と戦う姿勢を示すためにも、敢えて訴訟に踏み切った自らの心情を語って、陳述を締め括りました。

豊島氏の意見陳述はユネスコ的高等教育世界宣言、ドイツの法学者イエーリングやアメリカの故フルブライト上院議員の言葉などを引用した、きわめて格調高いものでした。

開廷後、裁判所から程近い佐賀県弁護士会館に場所を移して、角縁進佐賀大学教職員組合書記長の司会により、報告集会が開催されました。同組合の委員長の鈴木から開会の挨拶と、関係諸団体・支援者へのお礼の言葉があった後、豊島氏から意見陳述に関する更なる詳しい解説と補足説明がありました。続いて、東島

浩幸弁護士より、第1回口頭弁論について詳細かつ確かなポイント説明が行われました。また「格調高い意見陳述を被告に聞かせたかった」と、被告側が出廷しなかったことに不満を述べられました。次に磯野健一全大教九州事務局長から、他の国立大学等における訴訟の動向が紹介され、全大教九州としても、政府による不当介入と戦うため、関係諸団体と共に力を合わせていけるよう協議していくとの意向が示されました。他の国立大学における訴訟の具体的事例として、現在未払い賃金請求訴訟が進行中の福岡教育大学より、竹元規人教職員組合前書記次長に現況報告を行っていただきました。また福岡教育大学教職員組合からは当退職金訴訟第1回口頭弁論に対し連帯のメッセージをいただきました。この場を借りまして、厚く御礼申し上げます。続いて、「佐賀県内のすべての労働者の賃金削減阻止共闘会議」を代表して、小林信一共闘会議議長から、佐賀県高教組による賃金削減違憲訴訟の情勢について報告があり、また同時に公務員と民間の組合が共闘していくことの必要性が指摘されました。最後に永井信全大教書記次長から挨拶と激励の言葉があり、次いで出席者との間で質疑応答が交わされた後、報告会は終わりを告げました。所要時間は1時間10分ほどでした。

このたびは大勢の方々より様々な形でご助力いただきまして、どうもありがとうございます。次回の口頭弁論にも旧に倍するご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



<b>赤煉瓦</b>	熊本大学教職員組合	
	No.19 2014. 1. 20	内線:3529 FAX:346-1247 ku-kyoso@union.kumamoto-u.ac.jp <a href="http://union.kumamoto-u.ac.jp/">http://union.kumamoto-u.ac.jp/</a>